



国民のみなさまへ

放射線検査を安心して受けていただくために



CT等の検査により患者さんが受ける放射線によって、がんになるのではないかなどと心配される方も多いことと思います。また、このことを憂慮する報道や雑誌の記事も見られます。しかしながら、CT検査によって早期がんの発見が容易になり、がんによる死亡率が低下したというような報告もたくさんあります。これらの報道や雑誌、報告はどちらも間違いではありません。放射線による検査はメリットとリスクを併せ持つ検査なのです。そこで、患者さんに安心して放射線検査を受けていただくために、放射線検査に携わっている診療放射線技師の職能団体である日本放射線技師会としての意見を申し上げます。

1. 放射線検査を受ける回数(機会)が多いことは悪いことでしょうか？

わが国の放射線検査数が多いことは事実です。しかしそれは、医療機関が身近にあり、いつでも必要な検査を受けられることに他なりません。放射線検査によって得られるメリットと放射線検査によるリスクについて医師から十分な説明を受け、放射線検査を受けるかどうかは患者さん自身が判断できます。不安な点がありましたら医師や診療放射線技師に相談してください。本会会員の診療放射線技師は患者さんの不安や疑問にお答えできる資料やネットワークを持っていますので、気軽にお尋ね下さい。

2. CTは悪者でしょうか？

CTは被ばく線量が通常のエックス線検査の被ばく線量よりも約100倍も高い装置でありながら多くの医療施設に導入されており、全世界の装置数の約30%が日本にあります。しかしながら、通常のエックス線検査ではわかりにくい病巣も鮮明かつ容易に提供することが可能で、現代の医療にとって必要不可欠な検査になっています。CT検査が患者さんの診療を行う上で、非常に有用な検査の一つであることを否定する医師や診療放射線技師は皆無であると考えます。

3. 放射線検査はリスクだけなのか？

医療行為のすべてにリスクは存在しています。逆に、医療を受けないという選択にもリスクは存在しています。放射線検査を受けることによって、疾患の有無・早期発見、治療方針の決定、予後の推定など、患者さんは多くのメリット(利益)を受けており、メリットの方が被ばく等のリスクよりも十分に大きい時にのみ検査が行われています。また、病気があるかどうか、またどんな病気かわからなければ治療はできず、放射線検査を受けないことによって病態を悪化させてしまうリスクを負うことも忘れてはなりません。

4. 放射線検査の被ばくを少なくする(最適化)努力をしております。

放射線検査によって得られる患者さんのメリット(利益)は患者さんの病状や年齢等患者さんの検査を受ける時の状況によって大きく異なります。放射線検査によって患者さんの受けるリスクも同様です。このメリットとリスクのバランス選択が上手くできているからこそ現在の長寿大国日本があるのではないのでしょうか。医師が患者さんの検査が必要と判断しオーダーを出します。そのオーダーを受けた診療放射線技師は検査の目的に合わせて最小の被ばくになるよう放射線の量を調整して撮影を行います。また、出来上がった画像が検査目的にあっているか否かを常に確認しています。医療は患者さんと医師を初めとする専門スタッフの共同作業です。納得の行くまで説明を受け、安心して検査を受けていただきたいと考えます。



2010年12月1日

社団法人日本放射線技師会 会長 中澤 靖夫